

Overview: 神の永遠の目的は、すべてのものを、キリストの中でかしらにつり上げることです。キリストは立てられて、宇宙的なかしらとなりました。サタンは神の創造を腐敗させ、混乱を引き起こすことです。私たちはみな崩壊の堆積から救い出され、キリストの中でかしらにつり上げられる必要があります。召会生活は、キリストの中でかしらにつり上げられる生活です。もし私たちが、キリストの中でかしらにつり上げられることが何であるかを知らないなら、召会を知ることはできません。私たちは召会生活の中で、神聖なエコノミーにおける神聖な分与を通して、命と光によって、かしらにつり上げられつつあります。私たちは召会生活を尊び、愛し、召会生活の中で、率先してかしらであるキリストの中に成長し込み、かしらにつり上げられるべきです。召会がつり上げられることによって、神は万物をキリストの中でかしらにつり上げることができます。

I. 神の永遠の目的は、すべてのものを、キリストの中でかしらにつり上げることです。キリストは立てられて、宇宙的なかしらとなりました:

A. 神の永遠の定められた御旨は、時代の満了時のエコノミーにおいて、彼がすべてのものを、キリストの中でかしらにつり上げることです:

B. すべての時代における神の案配を通して、すべてのものは新天新地において、キリストの中でかしらにつり上げられます。これは神の永遠の行政とエコノミーです。』

II. サタンの目標は神の創造を腐敗させ、混乱を引き起こすことです:

A. サタンが自分自身を人の中へと注入したとき、サタンは人にとって死と暗やみになりました。罪は死をもたらし、死は暗やみをもたらし、暗やみは混乱をもたらします。

B. 全宇宙は、サタンが自分自身を死の要因として、神の創造の中へと注入することによって引き起こされた、崩壊の堆積です。

C. 神は働いて、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることによって、彼の被造物を束縛から解放し、自由へともたらしつつあります。』

III. 私たちはみな崩壊の堆積から救い出され、キリストの中でかしらにつり上げられる必要があります:

A. サタンの反逆と人の墮落によって引き起こされた宇宙の崩壊は、神に絶好の機会を与えて、彼の知恵を現させます。

B. 聖書によれば、神の救いは、私たちが墮落した罪深い状態から救うだけでなく、崩壊の堆積からも救います。

IV. 召会生活は、キリストの中でかしらにつり上げられる生活です:

A. 神は召会を通して、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることによって、すべてのものをキリストの下に服従させます。』

B. 召会は神の選ばれた人たちを、キリストの頭首権の下で、かしらにつり上げることです:

1. 正常な召会生活において、私たちはキリストの中でかしらにつり上げられつつあります。

2. もし私たちが、キリストの中でかしらにつり上げられることが何であるかを知らないなら、召会を知ることはできません。

3. 召会生活において、私たちはキリストの中でかしらにつり上げられることで率先しています。このために、私たちは命において成長する必要があります。

C. すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることでの第一段階は、神が彼の選ばれた人たち、彼の子たちを、宇宙的な崩壊から連れ出し、彼らをキリストの頭首権の下に置くことです。

D. 召会がキリストの中でかしらにつり上げられることで率先するとき、神は道を得て他のすべてのものをかしらにつり上げます:

1. 召会は神に用いられる器であり、神の問題を解決し、神の定められた御旨を完成します。神の定められた御旨は、ご自身を人とミングリングすることによって、人を通してご自身を現すことです。

2. 最終的に、からだはかしらとしてのキリストと共に、万物に対する宇宙的なかしらとなります。』

V. 私たちは召会生活の中で、神聖なエコノミーにおける神聖な分与を通して、かしらにつり上げられつつあります:

A. 神聖なエコノミーが私たちの中へと入って来ました:

1. キリストは神聖なエコノミーです。ですから、私たちはキリストを受け入れたとき、神聖なエコノミーを私たちの中へと受け入れました。

2. 神聖なエコノミーが私たちの中へと入って来るのは、行政、案配、計画としてであり、あらゆるものを秩序正しくします。

B. 神は行政を通して、ご自身を彼の選ばれた人たちの中へと造り込みつつあります。この行政は甘い分与、親密な執事職、心地良い家庭の案配です:

1. すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることが起こるのは、親密な執事職によって、心地良い家庭の案配によってです。

2. 神の家の中で振る舞う道は、喜ばしい家庭の行政、親密な執事職を持ち、キリストを神の家庭のすべての人たちに分与することです。』

3. 神のあふれるばかりの恵みは、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることによって完成します。このあふれるばかりの恵みは私たちの上で働いており、すべてのものがキリストの中でかしらにつり上げられるようになります。

4. 神の嗣業である私たちが、生ける証印としてのその霊で浸透されればされるほど、宇宙でかしらにつり上げられる状況が、ますますあるようになります。

VI. 召会生活の中でかしらにつり上げられることは、命と光によります:

A. 神が回復する道は、キリストとサタンが相対すること、命と死が相対すること、光と暗やみが相対すること、秩序と混乱が相対することです。

B. 崩壊は死の要因から来ます。かしらにつり上げられることは命の要因から来ます。

C. 神が彼の被造物の間で一を回復する道は、ご自身を命として私たちの中へと分け与えることです。

D. 私たちは実行上、崩壊の堆積から救い出されるために、命において成長する必要があります。私たちは命において成長すればするほど、ますますかしらにつり上げられ、ますます宇宙的な崩壊から救い出されます。

E. 神が命として私たちの中へと入って来るとき、命の光が私たちの内側で輝きます。この命は死を飲み尽くし、この光は暗やみを一扫します:

1. 私たちは命としてのキリストに満ちるとき、光の下におり、光の力によって制御されます。

2. 神は光であり、神の子供たちである私たちは、光の子供たちであり、また光そのものでさえあります。なぜなら、私たちは主の中で神と一であるからです。

3. 命の中で、また光の下で、私たちは混乱から救い出され、秩序、調和、一の中へともたらされて、キリストの中でかしらにつり上げられます。』

第一日: エペソ1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。

第二日: ローマ8:19 被造物は切なる期待をもって、神の子たちの出現を熱心に待ち望んでいます。

20 なぜなら、被造物が虚無に服従させられたのは、自分の意志からではなく、それを服従させた方によるのであって、21 それは被造物自身も、朽ち果てる奴隷状態から自由にされて、神の子供たちの栄光の自由に入る望みがあるからです。

22 全被造物は、今に至るまで共にうめき、共に産みの苦しみをしていることを、わたしたちは知っています。23 そればかりではなく、その霊の初穂を持つわたしたち自身も、自らの内でうめきながら、子たる身分、すなわち、わたしたちの体の贖いを、熱心に待ち望んでいるのです。

第三日: コロサイ1:12 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。13 御父は私たちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。

エペソ1:8 この恵みを、神はすべての知恵と思慮の中で、わたしたちにあふれるばかりに及ぼし、

エペソ3:10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、

ローマ11:33 ああ、神の豊富と知恵と知識とは、何と深いことでしょう！ 彼の判断は何と計り知れず、彼の道は何と極め難いことでしょう！

第四日: エペソ4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

1 コリント11:3 あなたがたに知ってもらいたいのですが、キリストはあらゆる人のかしらであり、男は女のかしらであり、神はキリストのかしらです。

コロサイ1:18 そして御子は、召会であるからだのかしらです。彼は初めであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。

第五日: エペソ3:2 あなたがたのために、私たちに与えられた神の恵みの執事職について、あなたがたは確かに聞いていることでしょう。

1 テモテ1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー[経綸]ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。

3:15 それは、もし私たちが遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

第六日: ヨハネ8:12 こうして、イエスは再び彼らに語って言われた、「私たちは世の光である。私たちに従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。

1:4 彼の中に命があった。この命は人の光であった。

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

10 しかし、キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命です。11 そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

経験①: かしらであるキリストの中へと成長して、混乱と崩壊から救い出される

死の力であるサタンが自分自身を人の中へと注入したとき、サタンは人にとって死と暗やみになりました。死は腐敗をもたらし、暗やみは混乱をもたらします。サタンの目標は神の創造を腐敗させ、混乱を引き起こすことです。しかし、主を賛美します。死が満ちあふれたところには、命もますます満ちあふれます！サタンが入って来て死なせた後、神が入って来て生かし、命を分け与えられます。命があるところに、光もあります。

神の許しなしに、いかなる反逆も起こり得ませんでした。天使たちの間の反逆でさえ、神の許しなしに起こり得ませんでした。神は彼の天使たちの一人が彼に反逆するのを許されました。これは神の知恵によりました。サタンの反逆は、絵の黒い背景が主要な対象をさらに際立たせるのと同じ役割を果たします。…創世記は、サタンが来て、自分自身を宇宙の中心である人の中へと注入したことを啓示しています。サタンが自分自身を人の中へと注入したとき、サタンは人にとって死と暗やみになりました。サタンが私たちの所に来るとき、あるいは私たちの家の中へと入るときはいつでも、死と暗やみがあります。この死と暗やみの結果は崩壊です。命に満ちた人は真っすぐに立つことができます。

光は正しい秩序をもたらします。…サタンが入って来て神の創造を死なせ、死は荒廃させ、暗やみは混乱させます。しかしながら、神が入って来て死んだ被造物を生かし、秩序をもたらされました。この秩序の中で、すべてのものはキリストの中にかしらに上げられます。…私たちは来たべき年に、神がさらに私たちをかしらに上げられると信じます。その結果、召会の状態は、今日よりもさらに良くなるでしょう。

中高生編

学校生活に混乱があるのは、死と暗やみが支配しているからです。死と暗やみの結果は崩壊ですので、それは混乱しているだけでなく、崩壊しています。この混乱と崩壊に対抗することができるのは、神の命だけです。この命は復活の命であり、死に打ち勝ちます。また、この命は光をもたらし、暗やみは光に勝つことはありません。そして命と光は正しい秩序をもたらします。

サタンは墮落したすべての人の肉と魂の中で働いており、学校生活の中で混乱、無秩序をもたらします。サタンはまた信者の肉と魂の中でも働いています。しかし、主を賛美します。信者であるあなたの霊は再生され、神によって保護されています。あなたは魂の感覚に従って生活するのではなく、霊の感覚に従って生活することを学んでください。あなたの魂の中の決定には、死と暗やみがあります。したがって、あなたの魂が主導権を握るのではなく、あなたの霊が主導権を握り、あなたの魂を支配する必要があります。

あなたは進学、勉強、学校での人間関係において、キリストをかしらとし、兄弟姉妹との交わりによって、バランスを取ることを学んでください。たとえば、あなたは進学において、自分の魂の中で決めて、主にあなたの決定を祝福して下さるよう求めてはいけません。そのように求めても、主はそれを助けることができません。なぜなら、あなたは魂の中で決定し、キリストをかしらとしていないからです。兄弟姉妹との交わりの中でバランスが取られることも、かしらであるキリストの中へと成長することの重要な部分です。キリストはかしらであり、召会はキリストのからだであるからです。エペソ 4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

受験生の姉妹の証し: 私は大学志望校を決定することで、いろいろ悩みましたが、主に開いて祈りました、「主イエスよ、私は自分の決定ではなく、主が選んでおられるところに行くべきです。私はこのことでキリストをかしらとします」。私がこのように祈った後、内側の混乱と暗やみはなくなり、主の平安がやってきました。ハレルヤ！

経験②: 神は万物をキリストの中で、召会を通して、かしらにつり上げる

召会の中でかしらにつり上げることは命の中の事柄であるのを見ることは重要です。もし命の中で成長することなしに、かしらにつり上げられようとするなら、私たちは組織に陥るでしょう。人の手や組織は、このことを成就することはできません。人の努力は、召会生活の中でかしらにつり上げることを助けることはできません。私たちはあなたを助けることはできませんし、あなたは私たちを助けることはできません。役に立つ唯一のことは、命における成長です。ああ、私たちは成長する必要がある、他の人たちが成長するのを助ける必要があります！私たちは互いに命を供給し合い、互いに成長するのを助け合う必要があります。召会生活の中でかしらにつり上げることは、絶対に命における成長にかかっています。

在職青年編

正常な召会生活において、あなたはキリストの中でかしらにつり上げられつつあります。エペソ 1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。

したがって、あなたは仕事が忙しくても、正常な召会生活をする必要があります。あなたのビジネス・ライフが神によって祝福される秘訣は、召会生活を第一とし、結婚生活を第二とし、ビジネス・ライフを第三とすることです。このことは、あなたに楽な仕事に就くように言っているではありません。むしろ、召会と家庭を支えるため、できるだけ良い仕事に就いてください。それはまた、あなたが世の中で優れた主の証し人になるためです。

職業を選ぶとき、次のことに注意してください。

- 罪に係わらない職業
- 主日が主のために聖別されることが出来る職業: 主日は主日集会に参加し、パンさき集会で主を賛美し、父を礼拝してください。また、預言の集会で、神の言葉を語ってください。さらにできれば、土曜日や祝祭日も召会生活のために使ってください。
- 経済的に自立し、さらに家族と召会を支えることができる職業: 経済的に自立するために、収入が低すぎではいけません。この点で、あなたは職業を趣味の延長線上に置かないでください。職業はあなたが経済的に自立し、家族と召会を支えるためであって、基本的にあなたの趣味とは関係がありません。多くの場合、仕事を趣味の延長線上に置くと、収入が非常に低くなります。但し、上記の条件が合えば、結果としてあなたの好みと合致することもありえます。
- 優先順位: 第一は召会生活、第二は家族、第三はビジネス・ライフです。もし、これらのことの間でコンフリクト(衝突)がある場合、あなたは正しい優先順位を持つ必要があります。この優先順位は、神の民が絶対的に神のために生きるためです。このことを実際に実行するために、あなたは、地上で絶対的に神のために生きたキリストを、あなたの全焼のさげ物として取り、経験しなければなりません。神のあなたに対する最初の要求は、あなたが自分のためではなく、神のために、しかも徹底的に神のために生きることです。もし、あなたがこうすれば、あなたのビジネス・ライフは必ず引き上げられ祝福されます。

あなたは次のように祈ってください、「主イエスよ、私は自分自身で神のために絶対的になることはできませんが、あなたは神のために絶対的な生活を生きられました。召会生活の中であなたを享受して、神のために絶対的な命を生きさせて下さい。召会生活を通して、私と私のビジネス・ライフをつり上げ、祝福してください。私は召会生活を愛し、率先してかしらであるキリストの中に成長し込みます。アーメン！」。

779究極的な現れ—万物をかしらにつり上げるキリスト

1. キリスト、かしらに万ぶつつり上げ、
いちへと帰するは、かみのエコノミー。
2. かみとキリストはともに座に着き、
こころのねがいがひょうげんされる。
3. いのちの主は内容、聖徒らはうつわ。
万ぶつをつり上げ、栄光をひょう現す。
4. サタン自身を注入し、万ぶつ破かいす、
腐はいをもたらし、ご計かく、はばむ。
5. 主は来て、ご自身を分与してすくう。
死、やみのちからは、もはやおよばず。
6. 万ぶつはかしらにつり上げられる。
召会通し万ぶつはたいけいとなる。
7. キリストのもとで万ぶつ存在する。
召会通し、万ぶつは、つり上げられる。
8. 主はかしら、中しん、からだかがやき、
万ぶつは調和して、へい和をたもつ。
9. やみ、墮らくはなし、死も空虚もなし。
万ぶつ、なわめよりとわに解放さる。

779 终极的の显出—基督归一万有

- 一
在基督里归一万有，乃是我神的经营；
基督作头并作中心，万有和谐而安宁。
- 二
基督元首要作中心，神在其中作亮光；
基督和神同坐宝座，使其心愿全得赏。
- 三
基督要作生命、内容，归一万有于光中；
众圣要作祂的器皿，永远彰显祂光荣。
- 四
撒但已将他的自己注到人里，毁万有，
带进黑暗、败坏、紊乱，使神计划难成就。
- 五
基督来将祂的自己分赐与人作生命，
拯救人脱黑暗权势，黑暗、死亡，再无能。
- 六
藉召会—祂的身体，要将万有归于一；
万有都要联得合式，无论大小成一系。
- 七
在这元首基督之下，万有联结而存立；
在祂召会所照光中，万有全都归于一。
- 八
有祂作头并作中心，万有全都能和谐；
藉祂身体所有光照，万有相安无间歇。
- 九
再无黑暗，再无死亡，再无败坏与虚空；
万有都要脱离辖制，永远居于自由中。

981.UltimateManifestation-ChristHeadingUpAllThings

- 1
In His Christ to head up all things is our God's economy;
Taking Christ as Head and Center,all is one in harmony.
- 2
Christ as Head will be the Center; God with in will be the Light;
Christ enthroned, with God, His substance, will fulfill His heart's
delight.
- 3
Christ as life will be the content, heading up all things in light;
All the saints will be the vessel, to express His glory bright.
- 4
Satan hath himself injected into man all things to spoil,
Bringing darkness and corruption God's eternal plan to foil.
- 5
Christ has come, Himself imparting into man as life to save,
That the pow'r of death and darkness may no more all things
enslave.
- 6
Thru the Church which is His Body Christ as Head will sum up all;
All will fitly join together,all things either greater small.
- 7
Under Christ, by His full headship, all in union will subsist;
In the light the Church expresses all in oneness will exist.
- 8
Owning Christ as Head and Center, all will be in harmony;
Thru the shining of His Body all will share His liberty.
- 9
No more darkness and corruption, no more death and vanity;
All will be released from bondage through out all eternity.